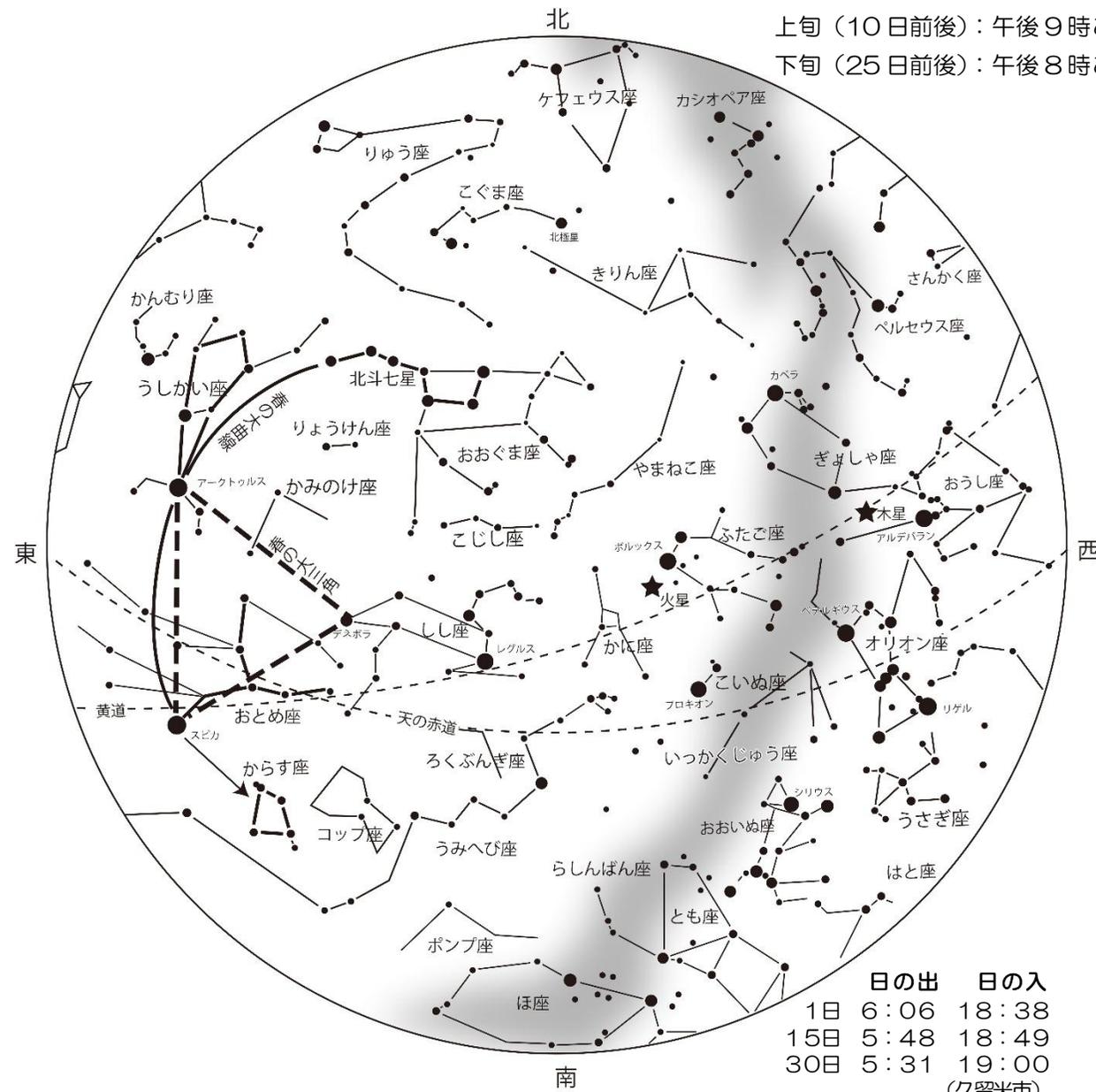


令和7年 4月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬（10日前後）：午後9時ごろ
下旬（25日前後）：午後8時ごろ

★4月の星空案内

桜の花も見頃を迎え、日ごとに春の季節を感じる陽気となってきました。今月は東の空からのぼりはじめた春の星座を楽しむことができます。春の星座探しは、北の空にある7つの星でつくる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を探るところから始めましょう。北斗七星は**おおぐま座**の背中からしっぽにあたる部分になります。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手の部分から南に向かってカーブをのぼしていくと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**が見つかります。さらにカーブをのぼしていくと、白く輝く**おとめ座**の1等星**スピカ**が見つかります。うしかい座はアークトゥルスから北側にのびる「ネクタイ」のような星の並びが目印です。おとめ座はスピカから「アルファベットのYの字」のような星の並びが目印です。北斗七星からスピカまでのぼした大きなカーブは『**春の大曲線**』といい、春の星座探しのよい案内役になります。

南の空高いところには、1等星**レグルス**をたよりに「？」マークをひっくり返したような星の並びが見つかります。この星の並びは「**ししの大がま**」といい、しし座を見つける目印になります。また、しし座のしっぽで輝く星が2等星の**デネボラ**です。

そして、うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカ、しし座のデネボラを結んでできる三角形を『**春の大三角**』といいます。

春は霞がかった日が多いですが、晴れた夜にはぜひ、春の夜空に描かれる『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に、春の星座探しを楽しんでみてください。

【惑星の見え方】（☆マークは、今月のおすすめです。）

- 水星（1.2等前後）：うお座付近 観望に適さない。
- ☆金星（-4.2~-4.8等）：みずがめ座→うお座付近 日の出前、東の低い空で輝く。
- ☆火星（0.6等前後）：ふたご座→かに座付近 日の入り後、南西から西の空で輝く。
- ☆木星（-2.1等前後）：おうし座付近 日の入り後、西の空で明るく輝く。
- 土星（1.2等前後）：みずがめ座付近 観望に適さない。

注目の天文現象（4月）～月と金星と土星でつくる「困り顔」を探してみよう～

4月25日、夜明け前の東の空で、月と金星と土星が三角形の位置に並びます。顔を北側（左）に少しかしげて見ると、金星と土星が目、月が口のようで、少し困ったような顔にも見えます。

ただし、日の出1時間ほど前の時間帯でも、東の空低い位置になりますので、見晴らしの良い場所でないとは観察は難しいかもしれません。金星と土星と月でつくる「困り顔」を探してみたい場合は、ぜひお試しください。

また、2日後の27日には金星が最大光度を迎えます。光度は-4.8等にもなり、ひと際強く輝く金星が見られるでしょう。この明け方に見られる金星を「明けの明星」といいますが、4月以降は、9月頃まで東の空で見られます。

この機会に他の天体とともに、明けの明星を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日	日の出	日の入
1日	6:06	18:38
15日	5:48	18:49
30日	5:31	19:00

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
5	土	☾ 上弦 (11:15)	21	月	☾ 下弦 (10:36)
6	日	月が火星に最接近 (05:08)	27	日	金星が最大光度 (-4.8等)
13	日	☉ 満月 (09:22)	28	月	● 新月 (04:31)